

# こんにちは 庄内町議会 です



No.53  
6月議会号  
29.7.20



「庄内町消防団」

春季演習

P16 関連記事

- ◆ 改選委員決まる …… 〈人 事〉 2
- ◆ 新たなまちづくり …… 〈議 案〉 3
- ◆ 13人が町政を問う …… 〈一般質問〉 4
- ◆ 本音で意見交換 …… 〈町民と語る会〉 12
- ◆ ズバリ提言 …… 〈常任委員会報告書〉 14

# 改選委員に期待する

## 19人の農業委員が決まる

# 人事

# 6月 定例会

## 会期

6月13日(火)から  
20日(火)まで

各会計  
補正予算  
**3件**

条例改正  
**5件**

人事案件  
**27件**

契約案件  
**2件**

発議  
**1件**

**計38件**  
すべて原案  
どおり可決

### 農業委員

農業委員会改革により、選挙を廃止した最初の任命です。委員定数である19人を一括上程。採決は個別に起立採決しました。

賛成全員 すべて同意

阿部 金一郎 (鳥町)	佐藤 優人 (深川)	長南 統枝 (連枝)	秋葉 俊一 (工藤沢)	半澤 重幸 (三ヶ沢)	小林 ひろみ (南野)	齋藤 智幸 (常万)	若松 忠則 (田谷)	和島 孝輝 (廿六木)	佐藤 恒子 (老荷瀬)	高橋 聡 (吹払)	齋藤 敦 (沢新田)	高橋 聡 (前田野目)	日下部 耕平 (榎島)	斎藤 克行 (下朝丸)	五十嵐 晃 (中堀野)	高橋 義夫 (大野)	太田 政士 (荒鍋)	佐藤 繁 (仲町)
----------------	---------------	---------------	----------------	----------------	----------------	---------------	---------------	----------------	----------------	--------------	---------------	----------------	----------------	----------------	----------------	---------------	---------------	--------------

### 選挙管理委員

平成29年8月15日で任期が満了することから、選挙をしました。

賛成全員で当選

足達 ゆみ子 再任	館林 由美子 再任	佐々木 寿春 再任	吉泉 豊一 新任	阿蘇 隆一 再任	佐藤 光江 再任	高橋 克弘 新任	清野 弘子 新任
--------------	--------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

### 教育委員会委員

平成29年8月16日で任期が満了することから、1人が再任、2人が新任で提案されました。

賛成全員で同意

今野 悦次 再任	梅木 均 新任	太田 ひろみ 新任	真田 俊紀 新任
-------------	------------	--------------	-------------

### 固定資産評価 審査委員会委員

平成29年8月16日で任期が満了することから、3人が再任で提案されました。

賛成全員で同意

佐藤 成彦 再任	松浦 一字 再任	富樫 俊 再任	足達 健一 再任
-------------	-------------	------------	-------------

# 議案

## より、便利な足として

### 中心市街地循環線新設



買物、通院に便利です

**A Q** 新規のバス停は5箇所です  
マックスバリュ  
ヤマザワ  
興野・館  
和光町  
太田デンタル

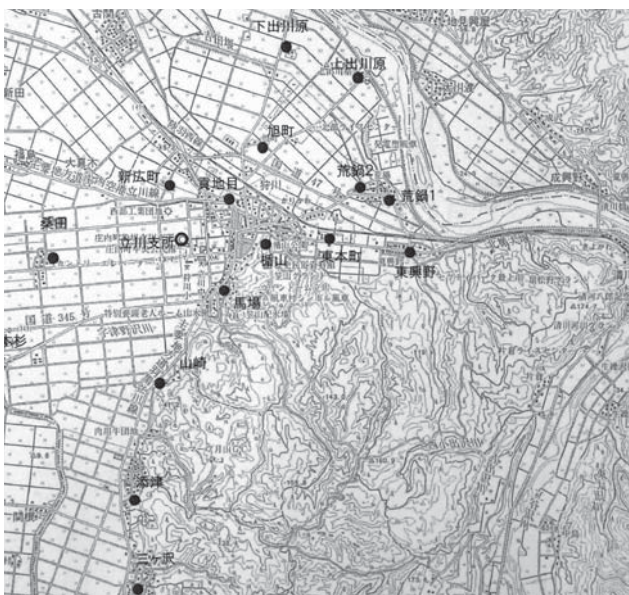
**A Q** いつからか平成29年9月に、新路線での試験運行を2週間かけて行います。試験運行では、道路状況やお客様対応、乗降について検証します。その後、10月に、本運行となる予定です。

賛成全員で可決

# 新バス路線と新防災無線を定める

## 防災無線強化

アナログ → デジタル 事業費 9千万円  
完成 平成30年3月23日



デジタル化で聞きやすく

**A Q** 内容はどうか

狩川地域の防災行政無線デジタル化事業は平成27年度の実施設計により、現在の22箇所を19箇所へと変更しています。今年度は、予算の範囲内で16箇所のデジタル化工事を行います。

残りの3箇所は、アナログ波で放送を流せるので、情報伝達の空白期間はありません。引き続き、財源の確保に努め、3箇所のデジタル化を図ります。

賛成全員で可決

# 町政を問う

## 一般質問



「笑顔で元気なあいさつ運動」スタートアップイベント

余目四小

6月14、16、19日の3日間にわたり、13人の議員が、町の事務執行・将来の政策指針など25項目について質問しました。その要約（下記●項目）を4～11ページで紹介します。

## 質問全項目

（●印 要約紹介項目）

- 小林 清悟 議員…………… P 5
  - 政治姿勢について
  - 町有地の未登記について
- 上野 幸美 議員…………… P 5
  - 交流人口の拡大について
- 澁谷 勇悦 議員…………… P 6
  - 教職員の激務について
  - ミサイル飛来緊急事態について
- 押切のり子 議員…………… P 6
  - 観光客誘致について
  - 地域活性化について
- 齋藤 秀紀 議員…………… P 7
  - 生ごみの分別について
  - 狩川城址公園構想について
  - 農業振興について
- 石川 保 議員…………… P 7
  - 町長の政治姿勢について
- 鎌田 準一 議員…………… P 8
  - 暴風雨等による被災家屋と居住者への対応等について
  - 文化創造館のこれからについて
- 國分 浩実 議員…………… P 8
  - 新学校給食共同調理場について
- 五十嵐啓一 議員…………… P 9
  - 役場新庁舎建設について
- 石川 武利 議員…………… P 9
  - OB消防団と防火水槽について
  - 空き家の現状について
- 工藤 範子 議員…………… P 10
  - 要介護者への障がい者控除認定書発行について
  - 医療費無料化を高校生まで拡大することについて
  - 運転免許自主返納者に対する対応について
  - 新学校給食共同調理場での事故について
- 齋藤 健一 議員…………… P 10
  - 観光交流人口拡大の施策について
- 小野 一晴 議員…………… P 11
  - 一般職非常勤職員の労働条件について
  - 役場本庁舎改築について
  - 消防署立川分署の入札問題について

項目は、「一般質問の「事前通告書」から掲載しています。

会議録と録画映像は「庄内町議会」ホームページで確認ができます。

## 町有地 未登記

### 解消せよ

町長 解決に努めたい



小林 清悟 議員

### 問

平成18年に町が所有する土地の未登記が174筆あったが、7年後の平成25年には19筆が解消され155筆となった。4年が経過し、現在はどうなっているか。また、今後の対応はどうか。

### 町長

174筆のうち、解決が可能と考えられた38筆を詳細に調査した。その結果、24筆の登記を完了している。相手方の相続の問題もあり、時間がかかっている。

### 問

農林漁業体験実習館において、未登記があった。



未登記に不安あり

### 町長

農林漁業体験実習館の用地のなかに、個人名義の土地がある。逆に町名義

の土地を、個人が畑として耕作している土地もある。所有者の代替わりもあり、権利者を把握することが困難な状況にある。解決に努めたいが調査費用と労力、土地の再測量などの経費を考慮し進めている。

## グリーンズ 教育旅行

### 町施設を有効活用せよ

町長 仕掛けづくりを検討したい



上野 幸美 議員

### 問

交流人口は80万人に拡大しているが、町全体の経済効果につながっていない。滞在体験型観光可能性調査の内容で、経済効果につながる宿泊施設整備等について、どう判断するのか。

### 町長

宿泊施設を誘致する場合、さらなる交流人口の拡大がなければ黒字化は難しい。その可能性は、観光振興計画策定の中で検討する。

### 問

滞在体験型事業グリーンズ・リズム教育旅行は、地域住民の参画拡大が課



大喜び 昔の田植え

題であるが、国際交流協会との連携、第四公民館の宿泊施設の活用はどうか。

### 町長

インバウンドの推進のため、国際交流協会の協力を得て民泊事業を進める。教育旅行の受入れは余目第四公民館の簡易宿泊施設整備の事業計画に入っている。

### 問

滞在型から広がる地域活性化・経済効果には、町の施設を有効活用した仕組みを実施してはどうか。

### 町長

町民の幅広い協力を得て、自然、観光施設、食べ物等、地域の魅力をまちづくりや産業振興につなげ、大きな力となる仕掛けづくりをしたい。

## 教職員勤務実態

### 激務の軽減を図れ

教育長

地域の理解が大事と考えている



澁谷 勇悦 議員

問

文部科学省が公表した「平成29年度教員勤務実態調査（速報値）」を受け、マスコミは「世界一の長時間勤務、中学校教諭の6割は過労死ライン」などと報道している。

本町の現状、対策等はどうか。また、中学校部活指導は激務の一端となっていないか。さらに、文部科学省が平成28年6月に示した「学校現場における業務の適正化に向けて」の改善方策への取り組みはどうか。

教育長

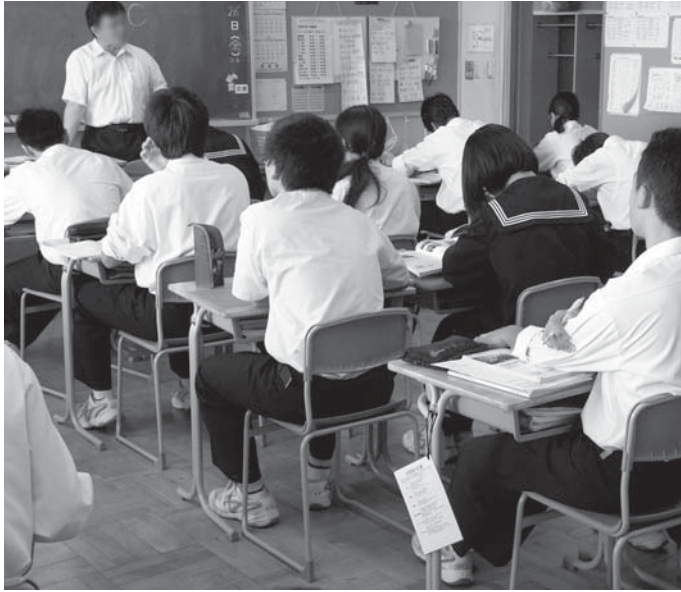
2カ月から6

カ月間に、月80

時間以上の時間外勤務をした教員の割合は小学校で10%、中学校で47.5%となっている。教員数の充実、非常勤職員の配置、学校行事の精選等により負担軽減を図っている。週二日

は部活動を休むなど、子どもの学習環境に無理のないよう地域指導者をお願いしている。

本町は、教育委員会と学校現場に近い。専門職員の配置、社会教育課や保健福祉課との連携のほか、地域の理解が大事と考えている。



授業だけじゃないんです

## 観光客誘致事業

### 地域をつないで拡大図れ

町長

人、施設、地域をつなぎたい



押切のり子 議員

問

清川歴史公園整備事業は12億4千500万円と大型事業であり、当該地域の理解だけでは、進められない事業である。町はこの事業を精査した結果、どんな課題があるのか。

町長 2期、3期計画には、体育館清河八郎記念館、清河神社、清川公民館があり、全体を俯瞰して見る必要がある。内容や財源を含め、進めるには時間を要する。

問 この事業整備と同時に、小さな拠点事業も立谷地

問

北月山荘から

域だけの事業とせず、体験型工房とするなど各事業が地域をつないでこそ、生かされるのではないか。

町長

小さな拠点事業で立谷沢地区

の活性化を図る。工房での製造販売のほか、体験教室の可能性も検討したい。人をつなぎ地域をつなぎたい。

町長

月山の7合目

まで登れる登山道はある。7合目から8合目までのアクセスが難しく、頂上まで行けない状態になっている。



月山山頂のメリットを生かせ

# 生ごみ分別

## 継続、広げよ

**町長** 町益に有利に働くか検討する



齋藤 秀紀 議員

**問** アメリカのパリ協定離脱は、環境破壊だ。本町は、環境にやさしい町を宣言している。

立川地域の生ごみ分別は、昭和63年から30年間続いてきた。この習慣は、余目地域にも広がりつつあり、全国に誇れる。環境にやさしい町として全町で取り組むべきでないか。

### 町長

堆肥生産センターの選択破碎

分別装置が故障している。修理に多額の費用と時間を要することから、生ごみの受入れを休止している。しかし

生ごみの分別習慣を崩さないため、分別収集を継続している。

### 問

循環型社会を実践してきた町として、これからも継続し、モラルの高い町を目指すべきではないか。

### 町長

堆肥センターの設備が30年経過し、老朽化している。今後の運営方針を検討し、それを受けて本町に必要となる部分を抽出し、どんな対応で町益に有利に働くか検討する。



県民運動キャラクター ごみゼロくん

町から県に広がれ分別

# 町長選挙

## 後継に道を譲るべき

**町長** 後継者も考えた



石川 保 議員

### 問

7月の町長選挙に立候補予定の原田町長に対し、町民からは「多選批判した人間が、なぜ、同じことをするのか」「それが許されるのか」などの批判が、多く寄せられている。

先人の「政治家は選挙の前に、決まって嘘をつく」との言葉や、「画竜点睛を欠く」との、ことわざもある。

町長の実績は誰もが認めているが、政治家としての最後の仕上げは、自らが立候補することだけでなく、後継に道を譲るべきと強く申し

上げたいが、どうか。

### 町長

合併による国からの支援のある残りの3年間に、合併の総仕上げとみんなが誇れる町をつくりたい。個人の考えだけでなく、合併前から町づくりを共に行ってきた方々からの話を聞いて

判断した。後継者も考えたが、私が続けた方が町のリスクが少ないと考えた。この時期に町の勢いや方向を変えたくない。合併を進めてきた者として、合併した町への責任を果たしたい。



町長選挙 7月23日投票日

※画竜点睛を欠く：物事を立派に完成させるための最後の仕上げを忘れること

# 空き家対策

## 対策室を新設せよ

町長 検討会議で対応したい



鎌田 準一 議員

### 問

空き家等の問題は想像以上に深刻だ。家屋等への対処や措置についての策定は重要だ。所有者の自己責任を柱とする考えの他に、地域住民のための住環境整備計画についても示すべきであり、議論はされているのか。

### 町長

空き家を含む住環境整備は、空家等対策計画第5章「空家及び空地の活用促進」に、中心市街地居住促進事業として位置付けしている。具体的な対策内容は、これから検討する。

### 問

国は、空き店舗の固定資産税を6分の1の減免措置から、除外する方向で検討している。このように複雑化する空き家対策等に対応するためには、複数課にわたる対応から、総括的に扱える対策室を新設すべきでないか。

### 町長

基本的に都市計画係を窓口としていた。昨年、空家等対策計画を策定する際、空き家等の関係する部署が集まり、庁内検討会議を立ち上げた。そのような課題に対し課を横断した検討会議で対応したい。



こうなる前に

# HACCP 準 用

## 説明を急げ

教育長 業者説明は7月下旬に行う



國分 浩実 議員

### 問

新学校共同調理場の、設計段階での質問では、HACCPに準ずる管理を行う旨の答弁があった。施設内の衛生管理はもちろんだが、物流・流通に関しても管理してはどうか。

### 教育長

学校給食衛生管理基準に基づいた衛生管理が、HACCPに準じた管理に通じると考える。食品の納入業者は荷受の部分までの立ち入りで、その先へは入れないよう制限する。改めてマニュアルの整備を進めている。衛生管理の

あり方、検便等は業者に自主的取り組みを促したい。

### 問

納入業者からは、今後の納入について説明が未ださされていないと聞いている。HACCPの準用を、早目に伝えないとまどうのではないかと、納入業者に施設・

### 教育長

設備などの負担がかかるのか。説明は7月下旬に行う。あくまで食品としての管理を重点的に行うつもりで、現状では納入業者に施設・設備等の改修を求めることは考えていない。



笑顔のために衛生管理徹底

※ HACCP : 食品の製造過程で発生する可能性のある衛生・品質上の危険性を分析し、安全性確保のために監視すべき重要点を定め、厳格に管理・記録を行うシステム。



## 入札方式

### 地元参加で発注せよ

**町長** アドバイスを受けて判断したい

変動すると明記して  
いる。



五十嵐啓一 議員

#### 問

役場新庁舎建設事業で、6月

定例会前に労務費の上昇、西庁舎や外溝工事を含め、約2億8千万円の追加工費が示された。当初事業費は、物価上昇を見込んだ概算事業費でないのか。今後とも、物価上昇により、工事費もスライドして増額していくのか。

#### 町長

景気状況による物価スライドを見込んで、2、3年後必ずしも一致しない。だから、基本計画時点の積算であり、概算事業費は実施設計や資材単価等により、

#### 問

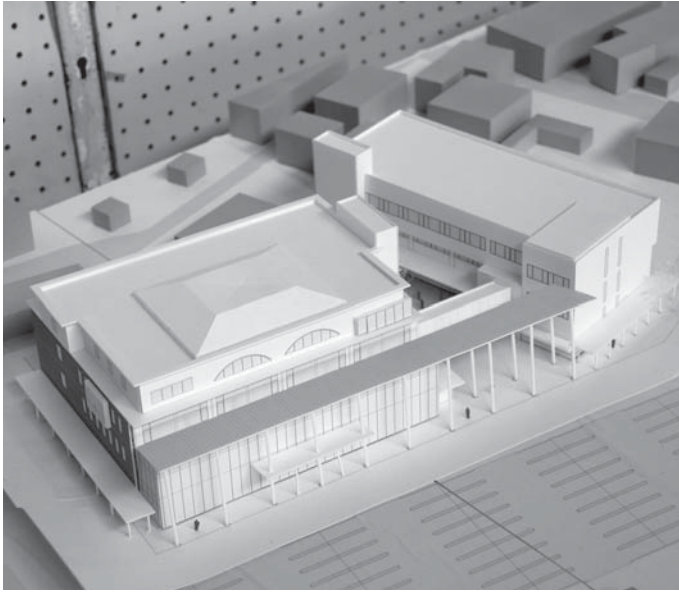
ゼネコンに一括発注すれば、工事費の高騰になるのではないか。

庄内地方の事業者が工事に参加できる機会を増やすために、分離発注をどの業種まで考えているのか。

#### 町長

庄内地区の業者が施工できる

か、限られた工期で完成できるか、どの範囲の事業者が適当なのか等を検討したい。また分離発注と一括発注のメリット、デメリットは設計者や建設技術センターにアドバイスを受けて判断したい。



工事費追加は説明不足

## 防災

### 支援体制・設備見直せ

**町長** 中長期的に検討する



石川 武利 議員

#### 問

過去の災害は多くの人々に大きな教訓を残している。

東日本大震災から6年が経過、その間本町の防災計画の見直しも図られてきた。有事の際の支援体制の在り方や古くからある防災設備の見直しが必要と思うが、どうか。

#### 町長

ア、常備消防と現状の消防団で

消防力は充足している。火災現場に消防団と

B 消防団が混在すると指揮命令系統に混乱を生ずる。OB消防団には、初期消火活動や避難活動の指導を願いたい。消防団員数の推移をみて、OB消防団の活用と、消防団の体制を検討する。

イ、防火水槽の維持管理は地元消防団がしている。老朽化したものもあるが、修繕、新設に多額の費用を要する。消火栓への切り替えを含め、中長期的に検討する。



備えは大事

## 医療費無料化

### 高校生まで実施せよ

**町長** 子育て応援の町づくり構想で検討したい



工藤 範子 議員

**問** 高校生までの医療費無料化は県内で7自治体が実施している。平成30年度からは寒河江市も実施の予定である。最近の物価上昇は、じわりじわりとおいかぶさってきている。給料も上がらないのに家計負担は重くなっている。町民所得一人当りは平成25年度216万6千円平成26年度は213万5千円で、マイナス3万1千円である。子育て応援の観点から検討すべきではないか。

実施し、現在は9自治体が実施している。始めて間もない事業のため、その実績を見ていく。本町の高校生の人数が577人で、中学生が526人である。昨年度、中学生の医療費無料化で負担した額は、1千300万円ほどである。推計すれば、高校生の医療費無料化による負担額も同程度と考えられる。負担額の財源をどうするのか。継続性も含めて、子育て応援日本一の町づくり構想のなかで検討したい。

本町の高校生の人数が577人で、中学生が526人である。昨年度、中学生の医療費無料化で負担した額は、1千300



家計も大変

**町長** 平成27年度に遊佐町が初めて

## 道の駅しようない

### 商品を増やす対策を図れ

**町長** 作物部会を立ち上げている



齋藤 健一 議員

**問** 観光交流人口を平成37年度に年間100万人を目標にしているが、その主要施策の一つである昨年8月オープンした「道の駅しようない」は、8ヶ月経過した。誘客数売上げ、地域への波及効果はどうか。

オープンから5月末までのレジカウント数が7万2千人、前年同期比4.5倍売り上げが5千570万円前年同期比3.8倍である。スタッフ等の雇用人数も3倍に増えた。冬場の品揃え対策が課題で計画生産のため作物部

会を立ち上げている。

**問**

今後の誘客数など拡大のためには、出店会員を拡大し、売る品を増やす対策と、安全安心を求める消費者ニーズに対応するトレーサビリティシステム導入を検討すべきでないか。

**町長**

トレーサビリティは一番大事

**問**

で、県の農業技術普及課の指導を受けている。高齢者向け野菜集配事業は進んでいるのか。高齢者の野菜宅配会員は28人、野菜収集会員は17人、見回り日数が115日という状況である。



品数増えれば集客アップ

## 役場 新庁舎

いくらかかるかハッキリせよ

町長 事業費は変わる



小野 一晴 議員

### 問

役場本庁舎の改築で、これまでの概算事業費27億7千500万円から3億5千万円上がるとのことである。しかし、基本設計からあった西庁舎のエレベーターや、当初から積算して当然の排水側溝工事が別途追加になっている。納得できない内容であるが、担当課では精査しているのか。

### 町長

基本計画では西庁舎の老朽箇所ので改修でエレベーターは入っていない。外溝工事に一般的な側溝工事は入っているが、

### 問

今後、発注方式による増減や備品を除けば、今回増額された31億円で納まるのか。一説によれば、役

場周辺の土地買収の交渉をしているようだがどうか。

### 町長

物価スライドや発注方式で事業費が変わる。一括発注でなく分離発注すれば、事業費が増える。庁舎建設にあたり、周辺整備の調査、検討をするのは当然と考えている。



町民ワークショップ

説明が出来ているのか

# 読者目線を反映

## 議会広報モニター決定

菅原和則さん(東一番町)

議会広報モニターを前回の広報紙で呼び掛けたところ、菅原和則さんから協力をいただくことになりました。

菅原さんの中学生時代は、学校の新聞部で編集作業に携わったの

をスタートに、いろいろな団体などで新聞や広報活動を行ってきました。これから1年間読者目線で議会広報紙のアドバイスをお願いします。



菅原和則さん(東一番町) 前列中央

# 本音で意見交換

今回は特にテーマは設けずに、5月23日～25日の3日間、7会場で開催しました。その概略をお知らせします。

詳細は議会 HP (「第9回庄内町議会町民と語る報告書」で検索) や地区公民館で見ることができます。

参加者 86人

これまでは平成23年度の96人が最少でしたが、これを10人下回り、世帯数換算で82世帯から1人の参加となっています。

会場ごとの参加人数は表1参照。

発言内容  
質問が77%  
議会関係は40%

参加者の発言は84件、発言率は98%で、ほとんどの方が発言されています。  
なお、発言内容は表2参照。

※発言率=発言数÷参加者数×100  
(1人複数発言があっても、発言数は独立して計算)

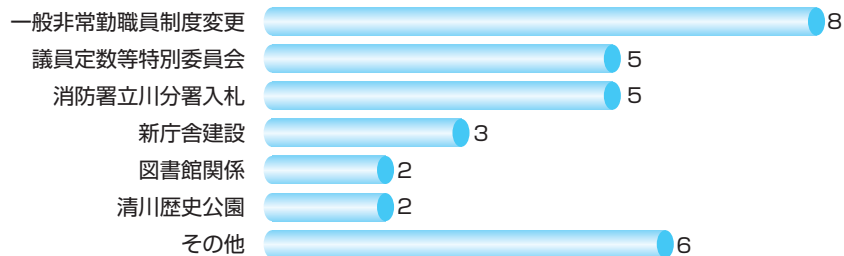
表1 会場別参加者

会場	人数(前年度・累計)
第1公民館	17 (20・239)
第2公民館	11 (19・144)
第3公民館	5 (16・116)
第4公民館	9 (20・108)
狩川公民館	8 (6・83)
清川公民館	23 (24・200)
立谷沢公民館	13 (10・95)
計	86 (115・985)

表2 発言の内容

議会町別	総数	内容別		
		質問	意見	要望
議会	34	31	2	1
町	50	34	10	6
計	84	65	12	7

図 議会への質問31件の内訳



清川公民館

## 主な質問

### 非常勤職員制度変更

**問** 非常勤職員の報酬で、組み替え動議が可決されているのに、予算がそのまま可決されているのはなぜか。

**答** 組み替え動議は予算を否決するものではない。非常勤職員の勤務時間を元に戻すための対応であった。町の対応には違法性がないと、賛成多数で可決した。

### 消防署立川分署入札

**問** この入札問題で、当局説明の公定力の回復・撤回、公文書の破棄などについて、議会は確認したのか。

**答** 政治倫理審査会を立ち上げ調査した。当局は、法令に従い対応したとのこと。なお、議会では、入札監視委員会の設置を提言している。

### 議員定数等

**問** 議会報酬が安いから特別委員会を立ち上げたのか。

**答** 県内22町村のなかで最低位であり、若い方々の立候補に懸念があることも、要因の一つである。また、人口減少等から、定数等も考えての立ち上げである。

### 新庁舎建設

**問** 庁舎建設で当初計画のあった太陽光発電、CM業務委託など、なぜ取り止めたか。また、太陽光発電は国でも進めている。町の施設でなければ整備できないため、再考すべきでないか。

**答** CMよりは、県の発注者支援業務委託が低額となるために変更された。太陽光は、非常用発電機が設置されるので、費用対効果で見直された。

※ CM (コンストラクション・マネジメント) 建設プロジェクトにおいて建設発注者から準委任を受けたマネージャー (CMr) が中立的に全体を調整すること。

テーマを設けず

# “何でもあり”

第9回  
町民と語る会

**参加者アンケート** 73人(85%)が提出  
満足・だいたい満足が8割強

意見交換の内容はいかがでしたか



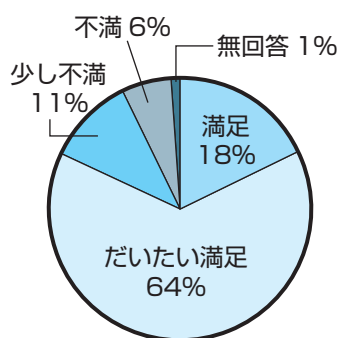
### 満足・だいたい満足

- ・意見に対して具体的に返答している。
- ・一人ずつ話させたのは良かった。
- ・いろんなジャンルの話がでて良かった。



### 不満・少し不満

- ・理解できない案件があった。
- ・時間が少ない。回数を増やしては…。
- ・法律論ではなく、町民目線での説明を。
- ・町民と語る会にふさわしくない質問があり、おかしい。



### 自由記載

- ・これからも続けてください。
- ・年1度ではなく、回数をもう1、2回増やして欲しい。
- ・質疑応答の時間がもう少しあれば良い。
- ・参加者が多くなる工夫をお願いします。
- ・9時に終了するように。
- ・人口の減に伴い、議員定数は当然削減すべきであろう。議員報酬は、生活できる額を保障すべきである。



貴重な意見を受け止めます

### 図書館整備

**問** 広報に図書館の質問があったが、現状はどうか。

**答** 平成29年度は、全部か一部の建て替えを検討している。有利な起債の活用期限である平成32年度まで完成するとしている。

**問** 清川歴史公園整備事業の総額12億円は、町民の理解が得られるか。この事業で誘客が進むと思うのか。

**答** 清川振興協議会で進めてきた計画であり、交流人口拡大も含まれている。今年度は、一期工事を予算化している。

**問** 放課後子ども教室の青空広場に使うてはどうか。

**答** 地元要望として複数あげてもらいたい。今後、検討委員会が方向性が決まると思う。

### 財政

**問** 破綻しないようにしてほしい。

**答** 破綻しないようにするのが、我々の仕事と受け止めている。子や孫に課題を残さないよう、しっかりと見て行く。

**問** 町民と語る会の班の会場は、どうやって決めているのか。

**答** 班ごとに抽選で決めている。

**問** 議会の録画配信が遅くないか。業者対応なのか。また、全員協議会もネット配信できないか。

**答** 録画配信は、業務委託となったことと、画質向上でデータ量が多くなったためである。全員協議会の配信は、持ち帰り検討したい。

# 生かせ提言

総務文教厚生  
常任委員会

## テーマ： 財政健全化について

### 調査目的

財政健全化に向け、厳しい状況が予想されることから、将来に向け持続可能な財政運営を目指すため調査した。

## 持続可能な発展のために

このように  
提言しました

### 財源確保

#### 滞納者への対応について

町県民税、国民健康保険税の納税や、公共料金の新規滞納の防止部門、滞納処分部門を一元化した専門部署を設置すべきである。  
**コンビニ納付について**  
多様な納付を実現し、利便性を高めることで、納税者の納税意欲向上

数字が示す財政健全化

につながることから、導入すべきである。  
**ふるさと納税について**  
今年度は、現状のまま返礼品を寄付額の3割を上限にすることに、こだわらない取り組みとするのであれば、返礼品等の必要経費を除いた寄付額全額を基金積み立てとして、ふるさと納税制度創設の意義に沿った取り組みを、すべきである。

### 歳出削減

**遊休財産処理について**  
売却や有償貸付の他、自然エネルギー事業用地としての売り込みに努力すべきである。

#### 重点プロジェクト

#### 「歳出充当一般財源3億円縮減」について

● 2億3千万円強の一般財源を縮減したが、毎年億単位の目標を設定するのは現実的でない。<sup>※1</sup> 合併算定替特例措置が終了し普通交付税が漸減することなどから、具体性のある実施計画を策定すべきである。

#### 補助事業について

● 創設の際には、達成すべき目標、補助期間の設定などを明確にし、廃止する際の判断基準も明確にすべきである。目標達成の判断は事務事業評価による

ものとし、目標達成もしくは設定期間満了事業は廃止すべきである。<sup>※2</sup>

#### 長期継続契約について

● 長期継続契約は事務作業合理化以外に、落札業者の計画的設備投資や契約額を圧縮できる可能性がある。同契約については積極的に推進すべきである。

### 財政計画

財政計画は町の未来を示す羅針盤であり、最重要計画である。中期的財政見通しとともに策定すべきである。同計画の策定には大規模ハード事業、行財政計画の具体的取り組みを示す実施計画が必要であり、各担当課と調整すべきである。

※1 合併した市町村に、なお存続するものとして計算（交付）された国の措置

※2 通常、単年度契約。リース契約など複数年にわたる契約のこと。

# より良い町づくりのために

産業建設  
常任委員会

テーマ：食を生かした誘客事業について

## 調査目的

庄内町でも米、ラーメンなど食に関する特徴があり、他にも地域の食文化を発掘する動きがある。地域活性化、誘客拡大に繋げるために調査した。



誘客の核となる「横手やきそば」

## 誘客 地域食文化のブランド化を図れ

誘客に成功した  
先進地

### 南陽市役所 ラーメン課

「ラーメン課」は市みらい戦略課のプロジェクト名で、そのネーミングにより、多数のマスコミが全国より取材に訪れ、予想をはるかに超えたPR効果が

あった。また、ラーメン課員はボランティアで、市内、市内の有志などから募集し、目標を100万人としている。更に東北芸術工科大学と連携し、生徒が取材活動をしマップ作成を担っている。

### 秋田県横手市 横手やきそば

飲食店と製麺業者が一体（暖簾のれん会）となり、

横手市観光おもてなし課観光振興係が事務局を担うなど、全市民一体的に取り組んでいる。

「横手やきそば」というブランド名を商標登録し、毎年B1グランプリに参加するなど「元気な地域はみんなの手で」をスローガンに、やきそばに使用するキャベツの生産や「いぶりがっこ」入り福神漬など、新たな加工生産にも取り組むようになった。

## このように 提言しました

### ブランド化 について

● 亀の尾発祥の地としての優位性を生かし、ふるさと納税の返礼品は、すべて庄内町産で補うべきである。

● 庄内町のブランドを特定するために視察地のよう、アンケート調査すべきである。

● 食を生かした誘客を目的とした担当係りを設置し、専門家を招聘するなど、ブランドを生かした誘客事業を展開すべきである。

### 情報発信 について

● 町のフェースブックやメールアドレスへのフォロー数は少ない。職員、町民の協力を得て情報拡散に努めるべきである。

● 誘客に非常に効果がある、たべぶらパスポート事業については支援を拡大すべきである。  
● 町が設置した観光施設では連携した情報発信を行い、イベント開催では相乗効果を図り誘客に努めるべきである。

# 生声ひろば

新・消防団長  
**菅原 尚也さん**  
 (西小野方)  
 インタビュー

5月28日(日)に、春期消防演習が行われました。あいにく雨天のため、総合体育館を会場に室内での演習となりました。今年から新たに菅原尚也さんが庄内町消防団長に就任しました。

**Q** 消防団長に就任した感想は。

**A** 多勢の団員をまとめるのは大変な仕事ですが、これまでの経験を生かし、大役を果たしたいと思います。

**Q** 団員としての経験は豊富だと思えますが、日頃気を付けてきた事はありますか。

**A** 火災などの災害は無いに越したことはありませんので、やはり普段から予防に気を使っています。また、山菜取りでの



新団長・菅原尚也さん



行進

遭難などもあり、山林を捜索する事例も増えているので、山の知識を身に付けることも必要となっています。町民の皆さんにも十分に気を付けてもらいたいと思います。

**Q** 最後に抱負を。

**A** 重責ではありますが町民の皆さんの安全安心のため、全力を尽くします。

近年は、団員が定員を割り込んでおり、人員確保に苦労しているようです。男女問わず、若い人には、町の安全・安心を守ることに貢献できる誇りのある仕事であること、知ってもらいたいとの事でした。団員は随時募集であることを付け加えておきます。

## 要約筆記

「ばんけの会」の協力で「やまびこ」

本町議会は独自の活動として、以前から要約筆記を導入しています。6月定例会では16日に実施しました。

現在は議場内大型モニターに映し出され、インターネットを通して、家庭でも要約筆記を見ることが出来ます。

### ●要約筆記ばんけの会

菅原 千佳さん

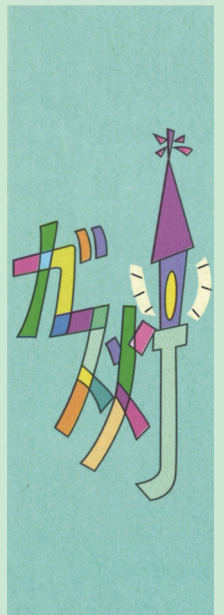
齋藤志保子さん

佐藤 薫さん

### ●要約筆記の会やまびこ

柿崎 明子さん代表

日下部恵子さん



▼議会広報紙が皆さんのお手元に届く頃は、庄内町町長選挙の投票日が目前になっていくことと思う。4人の候補者が選挙期間中これからの町づくりのため、論戦を繰り広げている。

町民の皆さんも、これからの庄内町を託す町長選挙に、願いを込めた一票を届けて頂きたい。

▼庄内町議会補欠選挙に、6月27日実施した立候補予定者説明会には、誰も参加しなかった。

このままでは来年6月末まで、欠員のままとなってしまう。

▼多くの地方議会も議員になり手がいない現状にあり、議会廃止も検討されている。平成

発行人

議長 吉宮 茂

議会広報常任委員会

委員長 五十嵐啓一

副委員長 齋藤 秀紀

委員 上野 幸美

委員 澁谷 勇悦

委員 鎌田 準一

委員 國分 浩実